

第4章

実現化方策

4 実現化方策

(1) 実現に向けて

大洗町では、都市計画マスタープランをもとに 20 年後の将来都市像である「人が輝き まちが輝く 海が育む観光・交流のまち 大洗」の実現に向け、町民と行政の協働によるまちづくりを進めるとともに、関連計画の推進や、周辺市町村との連携を図っていきます。

1) 協働によるまちづくり

本計画の策定にあたり、町民意向調査や改定案への意見募集の実施により、町民の様々な意見を取り入れて計画づくりを行いました。

都市計画マスタープランの実現にあたっては、町民が主体となったまちづくりへの取組が図られるよう、町民との協働に向けた体系の確立を目指します。

まちづくりへの参加

地区計画や建築協定をはじめとしたまちづくり計画について、町民参加を推進し、町民と行政の協働によるまちづくりを行います。

町民への情報提供

今後のまちづくりに際し、町民の理解と協力を深めるよう、情報提供の充実を図ります。

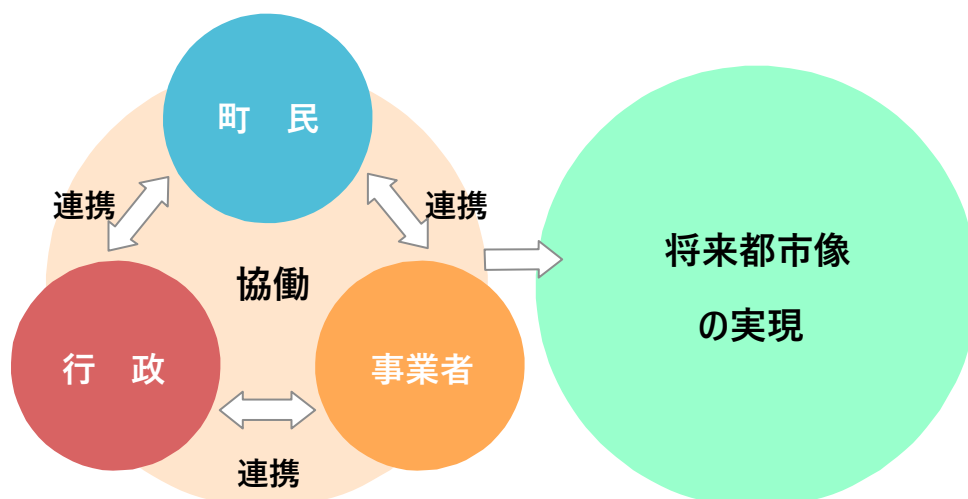
情報提供にあたっては、多岐にわたるまちづくり事業や制度について、整理、集約化を図り、分かりやすいよう体系的にまとめ、まちづくり情報コーナー、インターネットなどによる情報提供を検討します。

町民主体のまちづくりへの支援

町民主体のまちづくりを推進するため、各計画や事業についての的確な手法を検討します。

また、必要に応じ、具体的な運用方法としてまちづくりに関する制度の策定を検討します。

【協働によるまちづくりイメージ】



2) 都市計画事業の推進

都市計画マスタープランの実現に向けて、具体的なまちづくりの方策の展開が必要です。特に、都市計画はその中心を担うことから、各種施策や都市計画事業を計画的に推進するほか、社会経済動向の変化に対応した都市計画の決定や見直しを行います。

3) 関連計画の事業展開

関係機関との連携をさらに強化することにより、総合的な推進体制のもと、事業手法やまちづくり手法の検討を行い、事業の展開を図ります。

さらに、町民との協働による計画の推進に向け、情報の提供や計画の企画、施設の維持管理への町民参加を図ります。

4) 周辺市町村との連携強化

具体的な計画や事業を推進するにあたり、広域的視点から検討を行うため、国、県、周辺市町村との協議、連携を行います。

（２）まちづくりの推進に向けて

１）まちづくりの効率的・効果的な推進

まちづくりを推進していく上では、限られた財源の中で効率的かつ効果的に投資をしていく必要があります。そのため、まちづくり全体への波及効果や防災、居住環境の面などの緊急性等から、優先順位を検討します。

また、民間開発や個別建替え等においては、大洗町都市計画マスタープランに適合するように指導・誘導を図り、効率的なまちづくりを推進します。

２）都市計画マスタープランの進行管理

都市計画マスタープランは、社会・経済情勢、関係法令及び制度の改正など、本町における都市計画を取り巻く環境変化に柔軟に対応する必要があり、20年後のまちの具体的な都市づくりの目標を実現するためには進捗状況を明らかにするとともに、必要に応じて計画の見直しを含む適正な進行管理が必要となります。

このために、本計画に基づいた個別具体の都市計画においては、Plan（計画）、Do（実行）、Check（実行成果の評価）、Action（改善）を行い、次のPlan（計画）へつなげていく、PDCAサイクル手法による進行管理を行うこととし、目標の実現を目指します。

【個別具体の都市計画におけるPDCAサイクルイメージ】

